

## 平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

### 1. 学校概要

学校名 東京学芸大学附属国際中等教育学校  
種別  保育園・幼稚園      小学校      小中一貫教育  
 中学校      中高一貫教育      高等学校  
 教員養成      技術/職業教育  
 特別支援学校      その他 (                                     )  
所在地 〒178-0063  
東京都練馬区東大泉 5-22-1  
E-mail kenkyu@tguiss.jp  
Website http://www.iss.oizumi.u-gakugei.ac.jp  
児童生徒数 男子 282名     女子 435名     合計 717名  
児童・生徒の年齢 13歳～18歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (                                     )

### 3. 活動内容

#### ■国際理解・平和・人権

・SGHの活動の一環として、生徒間での情報を共有する機会として生徒主体のグローバルカフェを行った。外部の講師を招聘しての講師招聘型も数回開催している。各回のテーマは以下の通り。

#### 第1回 Global Cafe

『ISS生 東アジアをゆく～HateとPhobiaを超える！～』

日時：2015年4月10日（金）

場所：本校総合メディアセンター

テーマ「ISS生 東アジアをゆく～Hateとphobiaを超える！～」 独立行政法人国際交流基金が主催する高校生「ふれあいの場」訪問事業に参加し、中国にて現地の生徒と交流した生徒（6年）と、韓日交流エッセイ・フォトコンテスト 日本語エッセイ高校生部門の優秀賞受賞者として韓国を訪問した生徒（6年）が、それぞれの訪問についてプレゼンし、参加した生徒達と情報共有や意見交換を行った。

#### Global Café Extra

『東京韓国語学校との交流会～韓国料理を一緒につくろう～』

日時：2015年6月14日（日）

場所：東京韓国学校

#### 第2回グローバルカフェ

『梅と桜～今、日台関係を考える』

日時：2015年6月22日（月）

場所：本校総合メディアセンター

ファシリテーター：4年・6年

6月22日（月） 第2回Global Café 実施

テーマ「梅と桜 今日台関係を考える」

台湾へ研修旅行に出かけた生徒（6年・4年）、二人の経験とそこで感じた日台の関係について、「台湾をどう思う？」という問いをもとに、集まった生徒とディスカッションを行った。

#### 第3回 Global Cafe

『子どもの権利とジェンダー差別』

映画「Girl Rising～私は決める、私の未来～」上映会

及び対話型ワークショップ

日時：2015年7月10日（金）

場所：本校総合メディアセンター

ファシリテーター：6年

協力：公益財団法人プラン・ジャパン

テーマ「子どもの権利とジェンダー差別」

映画『Girl Rising～私が決める、私の未来～』上映

「ネパール女子力upプロジェクト」というテーマに取り組んでいる6年生生徒のSGH課題研究の一環として行った。公益社団法人プラン・ジャパンの協力を得て映画『Girl Rising～私が決める、私の未来～』を鑑賞した後、ワークショップ型で生徒同士のディスカッションを行った。性別・年齢を問わず「自分たちの生きる社会の問題」として捉えようとする姿勢が見られた。

#### 第4回 Global Cafe

『ユース・ファンドレイザーに俺はなる！』

国際A「国際協力と社会貢献」講座との共催

日時：2015年7月23日（木）

場所：本校公民教室

講師：宮本 聡 氏

(一般財団法人ジャパングビング事務局長)

Global Café と国際 A「国際協力と社会貢献」講座 の共同開催で実施。

本校教諭が担当している国際 A (本校独自の学校設定科目) の講座との共催で実施。ゲストスピーカーとして一般財団法人ジャパングビング事務局長の宮本氏を招き、ファンドレイジングとは何か、またクラウドファンディングで何がなせるのかなど実際的な話を聞き、現実社会の厳しさ、かつ社会貢献と資金の関係性について理解する機会とした。

Global & Science Cafe 実施

テーマ 「課題研究とは」 6年生から3年生全員へ

日時：12月17日(木)

場所：本校 E 棟 E201

新たに後期課程(高校課程)に入る生徒達へ、研究を進めていくための情報を提供。「UCL 海外研修と課題研究の関わり」、「ネパール女子力 UP プロジェクト」、「画像解析と表計算を用いた運動解析ツールの開発」という研究課題に取り組んできた6年生より、各自の課題研究プロセスやマインドを紹介し、下級生へのアドバイス機会とした。

第5回 Global Café

テーマ 「UCL Grand Challenge～世界が抱える問題って、どうやって解決するの?～」

日時：12月17日(木)

場所：本校総合メディアセンター

7月21日～29日にかけて、英国で行われた UCL グランドチャレンジセミナーに参加した生徒3名によるプレゼンテーションと、参加生徒とのディスカッションを行った。

第6回 Global Café

テーマ「国際移住機関 International Organization for Migration の仕事から見える世界」

日時：12月22日(火)

場所：本校 N 棟総合実習室

講師：国際移住機関職員 仲佐かおい氏による講演

本校生徒の課題研究に資する機会として提供。国際支援機関の職員である仲佐氏にアフリカ諸国が抱える「リスク」「葛藤と軋轢」(いずれも本校課題研究の大テーマ)に関わる内容を講演していただき、生徒が現実的かつ時代に即応した知識と情報を獲得できる機会となった。終了後は国際機関で働きたいと考えている生徒らから多くの質問が出ていた。

第7回 Global Café

「とびたて留学 J A P N」2015年参加生徒主催

日時：1月29日(金)

場所：本校 N 棟総合実習室

文部科学省が主催する「トビタテ！留学 JAPAN」の第1期生として参加した4年生2人が、「トビタテ！」の素晴らしさを知ってもらおうと、動画・写真・スライドを用いた体験談の他、事前研修・事後研修での学びなど、実体験として生き生きと語った。参加生徒から多々質問も出て、活気ある交流会となった。

第8回 Global Café

「夢をつかむ」

日時：3月14日(月)

場所：本校第一体育館

講師：パラリンピックメダリスト 松江マセソン美季氏

大学1年生の時交通事故に遭い下半身不随になり、アイスレッジ・スピードレースを始め、長野パラリンピックでメダルを獲得、卒業後障害者スポーツを学ぶためイリノイ州立大学に留学した話や、「誰もが参加できる社会作り」など現在の活動について語っていただいた。

## <各種ボランティア活動への参加>

■平和・人権・Global Health ■国際理解 ■環境 ■防災

★バイシクルライド 2015 イン東京 4月19日(日) メイン会場日比谷公園・越中島公園・千鳥ヶ淵公園

難病の子どもたちの夢をかなえるお手伝いをしている一般財団法人メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンをサポートするバイシクルライド 2015 イン東京のボランティアとして、2～6年の54名の生徒が参加。今回、ISSは4回目の参加だったが、第1回目から連続して参加してくれた6年生もいた。

★第10回ロハスデザイン大賞新宿御苑展(新宿御苑)

5月16日(土)・17日(日)、第10回ロハスデザイン大賞新宿御苑展(主催:一般社団法人ロハスクラブ、共催:環境省)のスタッフボランティアとして、のべ約100名のISS生が参加。生徒たちは、新宿御苑各門でのパンフレット配布や案内、スマイルアフリカプロジェクトブースの担当、隣人祭りLONG TABLEでの食事は依然など、さまざまな業務を主力として担当した。当日の様子は、『ソトコト8月号』(7月発売予定)で掲載。

★中2・中3学年合同企画

ユニクロ「“届けよう、服のチカラ”プロジェクト」(7/14)

真夏日の体育館で「届けよう、服のチカラ」プロジェクトを開催。ユニクロと提携。

★前期・後期ボランティア部 東北スタディツアー2015 夏実施

8月10日(月)～13日(木)まで3泊4日の日程で、東北スタディツアーを宮城県石巻市および牡鹿郡女川町で実施した。今年で4回目となるスタディツアーには3～5年生のボランティア部9名と、一般募集生徒8名、計17名が参加した。今回は、須田義明女川町長をはじめとして、女川町のまちづくりに携わっている行政・水産加工業者・NPOの方々とのセッションを行う時間を取った。「東京に住む中高生として女川のまちづくり」にどう関わっていけるか、というテーマで話し合いながら、自分たちは今住んでいる地域にどう向き合っていけばいいのかと「じぶんごと」に落としこんでいく様子が印象的であった。水産業体験として帆立の殻むきと調理や、仮設団地に伺ってのハンドマッサージ活動、また大津波で流されてしまったコミュニティを再生しようとする方との交流、など石巻や女川で悲しみを内に秘めながら輝いて生きている方たちと接することで、参加者たちは自分たちがこれから生きていく上で大切なことを考える3泊4日となった。

★9月21日(月) ウォーク&ランフェスタ(通称:ナンフェス)

東京学芸大学で開催された第7回ウォーク&ランフェスタに今年も約180名の生徒がボランティアとして参加した。

★『明日のカコンサート@TOKYO』

5年生の総合的学習の時間(国際5)の講座で研究をすすめている「おだづもっこ」のチームでは、3.11東日本大震災の「忘却」に抗うことを目的に、2016年1月9日(土)宮城県立石巻高等学校吹奏楽部を東京へ招いて、『明日のカコンサート@TOKYO』を開催した。「おだづもっこ」の生徒たちは、夏休みから「さんまやホタテ」の炭火焼修業を重ね、「練馬まつり」や「小金井祭」に出店し資金獲得にあたり、クラウドファンディングなども活用してコンサート開催のための資金づくりに奔走した。

## <国際交流>

■国際理解

★台湾義大国際高中との相互交流事業

台湾のIB校である台湾義大国際高中より1年生4名、2年生1名の生徒が6月15日(月)～19日(金)の5日間、本校を訪れた。日本での滞在中は、バディの生徒とともに本校での授業に参加し、クラスメイトとも英語でコミュニケーションを図るなど、交流を深める姿が見られた。また、ホームステイを通して日本での生活など、様々なことにチャレンジできた1週間となった。滞在の最終日には国際交流委員会主催のフェアウェルランチを開催した。昨年12月には、本校の生徒がSSH事業の一環として義大国際高中へ訪問。今後も引き続き、台湾義大国際高中との国際交流の輪を広げていきたいと考えている。

<各種セミナー・研修>

■国際理解 ■環境

★未来共創塾@TGUISS (7/14)

14日、三菱総研の研究者の方にお越しいただき、6年生を対象に3講座（「ぼくらの街のモビリティを考える ～誰でも、どこにでも自由に行ける未来の街～」 「国際協力 ～開発途上国ってどんなところ?～」 「2020年東京オリンピック・パラリンピックが社会を変える!？」）にわかれ、最新の動向や今後のトレンドを交えながらの講演とディスカッションを行った。

★東大泉中村町内会主催 総合防災訓練参加

9月13日(日)、ISSのある東大泉中村町内会主催の総合防災訓練に、1年生11名と5年生6名が参加した。学芸大附属学校構内避難所訓練ということで、大泉小学校体育館への案内、避難所受入のお手伝い、小グループでの懇談会での情報交換を行った。

<授業での取り組み>

■国際理解 ■防災 ■ESD全体

①6年生国語表現：図書館司書の講話

6年生の国語表現①クラスで「リスクとレジリエンス」の単元を開発・実施した。これはSGHの課題研究テーマの一つである「リスク」に関連付けて設定したものである。この授業では「レジリエントなコミュニティをデザインする」ことをゴールとした。その一環として11月2日(月)に本校図書館司書のW先生に難民キャンプでの図書館開設の支援活動についてお話をいただいた。タイ側にあるミャンマーのカレン族の方々の難民キャンプというコミュニティにおいて、なぜ支援として「図書館」が必要なのかということや「公共(コミュニティ)図書館」という存在はすべての人に平等に開かれていなければならないということなど、生徒がコミュニティをデザインする上で考えなければならない重要なポイントになる話であった。終

◆1年生『社会に貢献する』授業実施

10月6日(火)6・7限に日本ファンドレイジングより大石俊輔氏をお招きし、社会貢献や寄付活動について講演して頂いた。ボランティアや寄付活動を通して自分たちがどのように社会に貢献できるか考える機会となった。授業の様子は10月14日の日本経済新聞に掲載された。『英国で7歳の男の子がインターネットで2800万円の寄付金を集めた話など、大石さんは世界の子どもたちが手掛ける寄付エピソードを披露。生徒からは「かっこいい」「皆で一緒ならできそう」と前向きな声が飛び出した。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他(SGHの活動の一環として実施・ボランティア部の部活動として実施)